



学校教育目標 心豊かな子(徳) 体をきたえる子(体) 学び合う子(知)

子どもたちの笑顔あふれる学校を目指して

校長 星野 和久

暖かい春の陽射しの中で、校庭の木々の若葉が元気いっぱい顔を出し、子どもたちの新たなスタートを応援してくれているかのようです。お子様のご入学・ご進級、おめでとうございます。今年度、49名の新入生を迎え、全校児童352名で新学年をスタートしました。

子どもたちは、これから始まる新たな学校生活へ大きな期待を胸に今日の日を迎えたことと思います。その期待に応え、「子どもが通いたい。」「保護者、地域が通わせたい。」と思われるような信頼される温かな学校づくりを本校職員一同、全力で進めてまいります。

さらに、さぎの森小学校は、教育活動の支援や安全・安心の見守り等、学校・家庭・地域・行政が一体となり子どもたちのために協働する地域協働学校(ふじみ野市版コミュニティースクール)です。安心、安全な環境の中で、子ども、保護者、地域の皆様に笑顔にする学校づくりを目指してまいります。

新たなスタートとなる本日の朝、校門の前に立ち、子どもたちを出迎えると、「おはようございます。」と元気なあいさつの声が聞こえてきました。笑顔のあいさつを子どもたちと交わすと私の気持ちも温かくなり、「今日一日、がんばろう。」という気持ちになります。まさに、あいさつは魔法の言葉です。あいさつの語源を探ると、「お互いの心を開いて、相手の心に近づいていく。」という意味があるようです。あいさつは、人と人をつなぐ大切なコミュニケーションの基本であることは間違いありません。さぎの森小の子どもたちにも友達との関係、教員との関係づくりの一步として、あいさつのできる子に育てて参りたいと思います。

また、「認め、励ます言葉」は、子どもたちの自己有用感を高め、子どもたちの目標達成に向けた原動力になると考えております。学校は「よさを認め、褒める・励ます」ことで、子どもたちに頑張る意欲を与え、支えていこうと考えております。また、互いのよさを認め合い、学び合い、高め合う教育活動を進め、笑顔があふれる さぎの森小学校 を創造し、「さぎの森小が大好きな子どもたち」を育成していきたいと考えています。ぜひ、ご家庭でもお子さまの頑張りを認め、よさをたくさん褒めてあげていただければ幸いです。

<令和7年度 このような さぎの森小学校 をめざします>

1 学校教育目標 心豊かな子(徳) 体をきたえる子(体) 学び合う子(知)

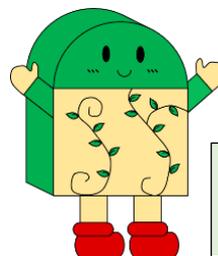
2 めざす学校像 「子どもが通いたい。」「保護者・地域が通わせたい。」と思う

あったかな さぎの森小学校

- (1) 笑顔あふれる学校: 子どもが主役、安心・安全、豊かな人間関係
- (2) 児童を認め励まし、伸ばす学校: 落ち着いた授業態度、話をしっかりと聞く
- (3) 誠実な学校: 迅速な対応、親切・丁寧

3 めざす児童像

- (1) さぎの森小学校が大好きな児童
- (2) あいさつが自然と言葉と態度に出る児童
- (3) 自分がされてうれしいことを他にもできる児童
- (4) 目標に向かってベストを尽くす児童



本校マスコット
さぎたいくん